

主催：立命館大学・関西医科大学

後援：公益社団法人 日本技術士会 近畿本部

公益社団法人 日本技術士会 生物工学部会

文部科学省 平成 21 年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」選定事業

「理工医薬融合型ライフサイエンス高度専門教育システムの創成(実施大学:立命館大学・関西医科大学)」

技術士・技術士補向け講座(全 3 回)

日本産業界の牽引役としてあるべき技術士の姿～リーダーとしてのスキルアッププログラム～

【対 象】 技術士・技術士補および修習技術者、資格取得志望者等一般の方々

参加無料

【参加費】 無 料(事前申込み制・先着順) 定員 60 名

【会 場】 大阪商工会議所 4 F 402号会議室 (裏面地図参照)

第 1 回

【日 時】 2011 年 10 月 22 日(土)13:00～16:00 (受付 12:30～)

【講 師】 岩堀 禎廣 氏 (株式会社再生医療推進機構取締役 技術部長・薬学博士)

【プログラム 1】「再生医療ビジネスの将来展望 ～特に歯髄バンクの可能性について～」

これまで歯科医療施設で廃棄されていた親知らずや乳歯の抜去歯に存在する歯髄細胞の有用性に着目すると同時に再生医療の将来展望・細胞バンク事業ならびに細胞を用いた先端医療技術について講義する予定です。

【講 師】 諸岡 晃 氏 (立命館大学生命科学部特別招聘教授)

【プログラム 2】「ティッシュエンジニアリング市場の現状と将来像 ～各インフラ市場の今後～」

ティッシュエンジニアリングに関与する製品全体の 2010 年までの市場状況を解説し、さらに 2020 年までの市場予測数字を比較検討します。そのうえで、ティッシュエンジニアリング産業はどの方向で進むべきかという考察をします。

第 2 回

【日 時】 2011 年 11 月 12 日(土)13:00～16:00 (受付 12:30～)

【講 師】 大森 規雄 氏 (弁理士・阿部井窪片山法律事務所)

【プログラム 1】「企業戦略と知的財産 ～研究者のための知的財産マネジメント～」

事業化を成功させるためには「特許権」という財産権を有効活用することが重要です。しかしながら、研究者と知財担当者との連携や企業における特許戦略は十分でないことが多くあります。そこで、特に企業の研究者に対し、特許取得及び権利行使の際に留意すべき事項、並びに企業における研究・開発業務と特許とのかかわりなどについて、具体的事例を交えて概説します。

【講 師】 諸岡 晃 氏 (立命館大学生命科学部特別招聘教授)

【プログラム 2】「バイオビジネスの現状と将来像 ～日本のバイオビジネスの温故知新的考察と将来戦略～」

2000 年前後にバブルが崩壊したアメリカバイオベンチャーの状況を振り返りながら、再度市場を復活させてきた要因はどこにあったのかを調査して、さらに、日本のバイオビジネスの特徴を捉え、日本独自のバイオビジネスの将来像を推察します。

第 3 回

【日 時】 2011 年 11 月 19 日(土)13:00～16:00 (受付 12:30～)

【講 師】 井上 潔 氏 (株式会社アーキ・イノベーション代表取締役社長)

【プログラム 1】「ライフサイエンス分野における日本・米国・中国マーケットの現状～新興国市場をどう捉えるか～」

ライフサイエンス関連分野の市場規模は、いずれは国ごとの人口比に収斂する。本格的な経済のテイク・オフ期に入った中国における診断・医療の関連分野の成長のダイナミズムを捉えるとともに、中国でのメディカル・ヘルスケア事業の展開のポイントを考えます。

【講 師】 尾崎 弘之 氏 (東京工科大学大学院アントレプレナーシップ専攻 教授)

【プログラム 2】「次世代型環境ビジネスの将来展望 ～成長を導き出す戦略について～」

環境ビジネスの内容を初めて定義したのは 1990 年代の経済協力開発機構(OECD)である。その後、再生可能エネルギー、省エネ技術などの分野が大きく成長し、さらに中国やインドなどの新興国にも広がり、スマートグリッド、電気自動車、スマートシティのような新分野が注目されています。本講義において、環境ビジネスのこのような変化・グローバル経済に与えるインパクトについて議論を行いたいと思います。

参加お申込方法

ご氏名・郵便番号・ご住所・ご職業(勤務先等、技術士・技術士補の方はその旨も)・電話番号(ご自宅または携帯)・E-mail・受講回内訳、を明記し、「電子メール」または「FAX」にてお申し込み下さい。受講票をお送りします。定員になり次第、締め切ります。(定員オーバーの場合はご連絡させていただきます)応募者多数の場合は先着順かつ技術士・技術士補の方を優先とさせていただきますので、ご了承下さい。

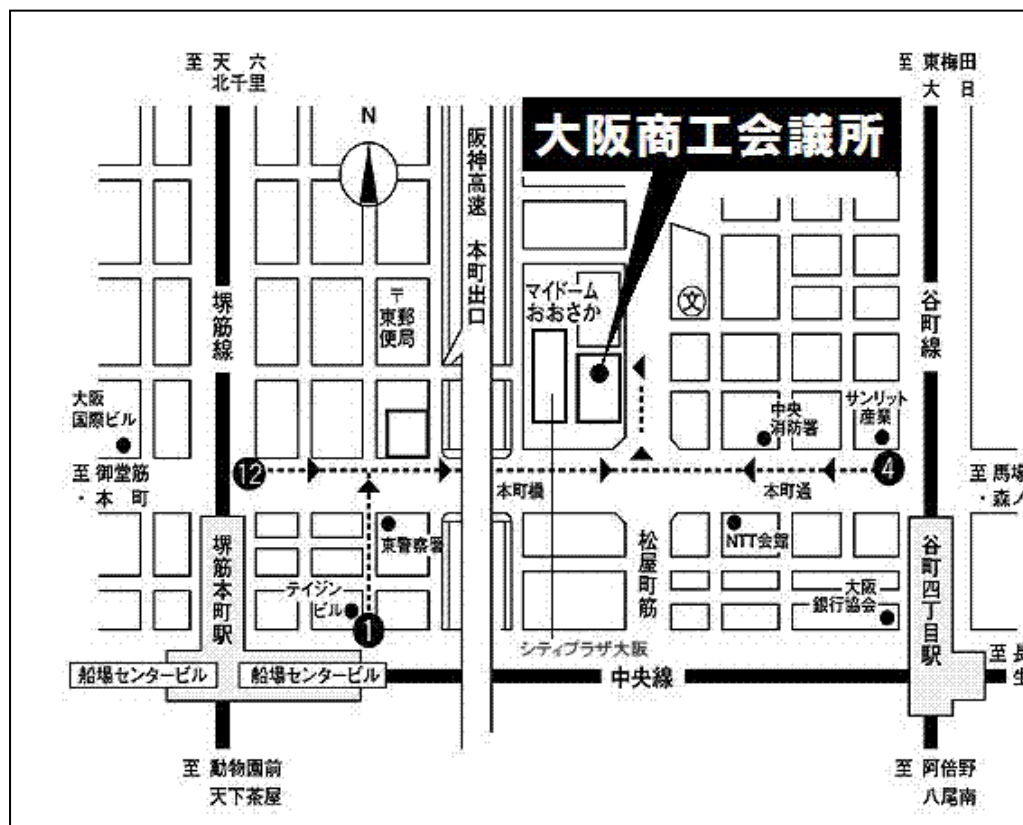
F A X **075-813-8132** (下記事項記入の上、本紙面を FAX してください) 24 時間受付
電子メール **sympono3@st.ritsumei.ac.jp**
 (メールタイトルを「技術士向け講座参加希望」としてください)



(ふりがな) ご氏名		・全 3 回を受講する ・第 1 回(10/22)を受講 ・第 2 回(11/12)を受講 ・第 3 回(11/19)を受講 ↑ ○ で囲んで下さい
ご住所 〒		
ご職業 (勤務先等)	技術士・技術士補・修習技術者 ← 当てはまる方は ○ で囲んで下さい	
TEL(ご自宅又は携帯)		
FAX(FAX 申込の方のみ)		
E-mail		

《個人情報の取扱について》応募いただいた個人情報については、当プログラムの運営管理の目的にのみ利用させていただきます。

会場アクセス 大阪商工会議所 4F 402 号会議室 (〒540-0029 大阪府中央区本町橋 2 番 8 号)



お問合せ先 立命館大学総合企画課「リカレントプログラム」事務局

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町 1 Tel075-813-8130 Fax075-813-8132

Email: sympono3@st.ritsumei.ac.jp http://www.ritsumei.jp/index_j.html